

総合支援資金特例貸付 新規貸付相談シート（自立相談支援機関に提出）

※この「新規貸付相談シート」がないと、貸付審査を行うことができませんので、必ず同封のうえ返信してください。

記入例

京都市長 様 裏面の「個人情報 要となる関係機	記入日を御記入のうえ、本人自筆に よる署名をお願いいたします。	いて、相談支援の 自立相談支援機関の利用を申し込めます。
記入日	令和3年 ●月 ●日	本人署名 福祉 一郎
生年月日	昭和○年○月○日(○歳)	

※本人署名欄が未記載の場合、貸付の申込はできません。

住所	〒600-0000 京都市★区□□□□ △△番地			
電話	自宅	075-000-0000	携帯	000-000-0000

現在の貸付状況	☒ 緊急小口資金特例貸付 申請日 令和●年●月●日 申請金額 20 万円	同時に申請する場合は、その内容を記載してください。	同居する子ども
---------	--	---------------------------	---------

同居者	☒ あり(3 人) ☐ なし	申請者以外の世帯員数	子ども	☒ あり(2 人) ☐ なし
-----	--	------------	-----	--

現在の職業	※業種、職種をご記入ください(自営業の場合も) 飲食店経営	雇用形態	☐ 正規雇用 ☒ その他(自営) ☐ 非正規雇用
-------	----------------------------------	------	---

現在の就労状況	☒ 就労している(自営業、個人事業主含む) ☐ 就労しているが、休業中 ☐ 就労しているが、転職先を探したい/探している ☐ 今後、就労予定(就労先決定済み) ☐ 仕事を探したい/探している(現在無職) ☐ 仕事をしていない(仕事は探していない)	令和元年12月以降で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける前の「月額所得」をご記入ください。
---------	---	--

収入減少前の状況	月額所得 (月額 約 30 万円)	減収の理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響で来客数が減少したことによる収入減。
----------	-------------------	-------	------------------------------------

現在の収入の状況	※申請月(●月)の見込 月額所得 (月額 約 7 万円)	貸付後の見通し	☒ 収入回復の予定あり (具体的に 新型コロナが収束し、客足が戻れば回復する見込み。) ☐ 予定なし
----------	---------------------------------	---------	---

総合支援資金の申請のほかに、自立相談支援機関にご相談されたい方は、下記の口にチェックして、具体的な相談内容を空欄にお書きください(総合支援資金の申請以外に相談の御希望が無い場合、チェックや相談内容の記載は不要です。)

自立相談支援機関に相談したいこと	☐ 病気や健康、障害のこと ☐ 住まいについて ☐ 収入・生活費のこと ☐ 家賃やローンの支払いのこと ☐ 税金や公共料金等の支払いについて ☐ 債務について ☐ 仕事探し、就職について ☐ 仕事上の不安やトラブル ☐ 地域との関係について ☐ 家族との関係について ☐ 子育てのこと ☐ 介護のこと ☐ ひきこもり・不登校 ☐ DV・虐待 ☐ その他(	自立相談支援機関に相談を御希望の方は、上欄チェックのうえ、下欄に内容を御記入ください。 ※後日支援員から連絡いたします。
ご相談具体的な内容	☐ 電話での相談を希望 ☐ 面談での	

自立相談支援機関に記入欄(記入しないで)	☐ 支援決定 ⇒ 社会福祉協議会への連絡 ☐ 非決定 ⇒ 福祉事務所への連絡
こちらは記入しないでください。	